

4 常任委員会の 所管事務調査報告

常任委員会は、その部門に属する事務に関して調査を行う権限を持っています。所管事務調査権は、市から提案された予算案や条例案などの議案を審査するのとは違い、各常任委員会が自主的にテーマを設定し、調査を行い、市当局に対し提言するものです。今回、この調査報告がまとまりましたのでお知らせします。

総務委員会

危機管理体制における消防団の 機能強化等について

認識

近年、大規模災害が頻発する中、消防団の活躍が期待されているが、団員数は年々減少傾向であることから、団員の確保に向けた取組を積極的に行う必要がある。

調査

本市消防団の活動状況や課題等を把握するため、市内の分団にアンケート調査を行ったほか、県内他市町に対して、消防団応援の店制度や機能別団員（分団）制度等について文書による調査を行った。

提言

- 近年、頻発・激甚化している自然災害に備えるため、それぞれの地域や分団に適応した組織や役割を検討するとともに消防資機材の整備に努めること。
- 消防団応援の店制度の利用率向上のため、対象店舗・対象業種の拡大を図ること。
- 新たな団員の確保策として機能別団員（分団）制度の導入を検討すること。

文教産業委員会

企業立地の促進について

認識

本市では製造品出荷額等が減少傾向にあるなど、工業振興は厳しい状況が続いており、雇用拡大や税収増加等の効果が見込まれる企業立地の促進が求められる。

調査

勉強会及び管内視察を行い、本市の企業立地の現状や課題、事業用地の整備状況、本市及び他市町の企業立地に関する補助金の交付状況を調査した。

提言

- 事業用地取得や設備投資に対する補助金の拡充を検討し、企業立地の促進に取り組むこと。
- 既存の補助金に加え、土地の造成や敷地内道路、調整池等のライフライン工事費用に対する新たな補助金の創設について検討すること。
- 事業用地のさらなる拡大のため、担当部局を超えた連携を図り、市街地調整区域の有効活用など、企業が立地しやすい環境の整備を行うこと。

民生病院委員会

福祉問題の多様化に対する 包括的支援体制の構築について

認識

8050問題（※）やヤングケアラーなど、複雑化・多様化する福祉問題に対応するため、市民の相談を包括的に受け止める支援体制の構築が求められている。

※8050問題…80代の親が自宅にひきこもる50代の子供の生活を支え、経済的・精神的に困窮してしまう状態

調査

福井県坂井市、愛知県豊田市の各市と本市をオンラインでつなぎ、先進都市である両市の取組を研究した。

提言

- 職員一人一人が「断らない相談支援」の基本的な考えを理解し実践できるよう意識の醸成に努めること。
- コーディネーターを各機関に配置し、本市全体がスムーズに連携する体制を整備すること。
- 組織全体で相談事例や対応方針等の情報を共有し、職員の知識やスキルの向上に努めること。
- 地域との連携を強化し、地域資源を活用した施策を展開すること。

建設水道委員会

中心市街地における老朽建築物の 更新と市街地環境の向上について

認識

本市の中心市街地では、建物の老朽化や都市のスポンジ化が進行しており、魅力ある都市拠点を形成するためには、これらの課題を解決する必要がある。

調査

先進自治体に対して文書による調査を行い、老朽建築物の更新手法や、市街地環境を向上させるための先進事例を学んだ。また、都市計画道路三枚橋錦町線で行われた歩行空間の社会実験について調査を行った。

提言

- 老朽建築物の更新手法として、スムーズな手続により建て替えができる優良建築物等整備事業の手法を検討していくとともに、本市の特性を踏まえた制度とすること。
- まちづくりのシナリオ等の作成に当たっては、本市が目指すにぎわい形成や具体的なビジョンなどを明確にし、市民等との合意形成に努めていくこと。